

モザイク画通じ 弘前と仏交流を

仏果樹庭園 ガルプさん 市長に作品紹介

「弘前×フランス」ーデンツールリズム協会
週間(9月17〜26日)の
一環として行われるト
ークセッションに参加
するため、フランスの
ラクネクシー果樹庭園
の最高経営責任者(C
EO)であるパスカル
・ガルプさんが26日、
弘前市役所を訪問し、
葛西憲之市長とリンゴ
を使ったモザイク画の
企画などについて実現
の可能性を探った。

ガルプさんは国際カ
ーデンツールリズム協会
の副会長などを務める
園芸家。26日に同市で
開催する「まちなかト
ーク・セッション」弘
前×りんご×フラン
ス『vol.2』のト
ークゲストとして出演
するため、来弘した。

同週間では「弘前×
フランス」プロジェクト
が主催する、日仏交
流写真展やフランス映
画の上映などが実施さ
れる。

26日はガルプさん
と、親交がある同市の
佐藤袋店の佐藤義博代
表取締役が市役所を訪
問。ガルプさんはリン
ゴを使ったモザイク画
を制作しており、葛西
市長に作品を写真や動
画などで紹介した。

ガルプさんは「弘前
とフランスの交流を通
じ、ぜひ弘前でモザイ
ク画をつくってみた
い。大きさやモチーフ
もさまざまなのが考



弘前市役所を訪問し、葛西市長(右)と懇談したガルプさん(右から2人目)

えられる」と話した。
葛西市長は「とても
面白い企画。実現でき
りそう」と意欲を語っ
た。(山本恵子)

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。
転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。